



Shintoshin Weekly

〒160-0023 新宿区西新宿2-7-2 ハイアットリージェンシー 東京11階
 TEL : 03-3340-3555 FAX : 03-3340-3554
 HP : <http://www.tokyo-shintoshin-rc.org> E-mail : shintoshin-rc@par.odn.ne.jp
 会長 北岡修一 幹事 佐原目朗 創立 : 1988年9月21日

「私の人生を変えた言葉」

ボルジギン ソリナ

2019学年度 米山奨学生 李ル只斤 蘇日娜 氏

2019年度米山奨学生のボルジギン ソリナ と申します。

私は中国内モンゴル自治区ウランハダアルホルチンというモンゴル族が暮らしているところに生まれました。小さいころから家族と放牧生活して育ちました。子供のとき、電気がなかったため、テレビ、ラジオ、携帯などが無い、外界とはつなががない生活を送っていました。

毎朝太陽と同じく起きる母親のミルクィングに手伝いをして、学校の後、宿題もない小中学生生活を送っていたのが、今の子供たちにはうらやましいだろう。小学校までしか教育受けて

なかった両親は、教育が一番大事だとつねに励んでくれていたおかげで、兄弟三人とも大学に行くことができました。

小さい頃から単一の肉を食べて育った私、大学で食品科学という学部を選びました。大学に入ってから基礎科目などを勉強し始め、高校生活とあまり変わりのない大学生活でしたが、中国語と英語の勉強に夢中になっていました。

視野が広がっていくに伴い、モンゴル食だけではなく、他の国の食文化について自分から勉強しようとするようになっていました。その中で、一番印象に残ったのが和食の素敵な飾り付けと優れた栄養のバランスさでした。大学卒業後、日本へ留学し、一年半日本語の勉強しました。大変な一年半ではありましたが、一番成長できたと思っております。

修士課程に野菜に含まれる癌抑制成分に関する研究をしました。修士課程の二年間で多国からきた研究者や

留学生と自分の研究結果を議論したり、国内外の学会発表で報告していたうちに、自分の研究結果が将来世の中に役に立つと思うようになり、研究に対するモチベーションが上がり、頭の中研究以外のことはなかった。博士課程に進学してから、想像以上の研究漬けの日々でしたが、週末に言語の勉強や大好きな登山で息抜きしております。



第1444回例会 10月2日 (水)

「私の人生を変えた言葉」
 2019学年度 米山奨学生
 李ル只斤 蘇日娜 (ボルジギン ソリナ) 氏
 (紹介者 青木宏義会員)

次のプログラム

第1445回例会 10月9日 (水)
 「ガバナー公式訪問」
 国際ロータリー第2580地区
 2019-20 ガバナー 新本博司 氏 (那覇RC)